

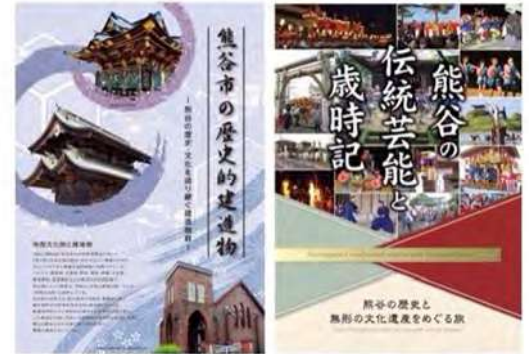
◇文化財センター夏休み企画「あなたも古代人」

今年も夏休み企画として、主に小学生を対象とした古代体験事業を7日間にわたって行いました。体験メニューは、まが玉づくりや埴輪づくりなどです。総勢240名の親子に参加いただきました。本講座では、作品を自由な形状に仕上げることができるのも魅力の一つです。いずれの子供たちも、個性豊かな完成品を手にして嬉しそうでした。(星) 【写真 土鈴づくり体験の様子】



◇熊谷の建造物・伝統芸能リーフレットの刊行

市内に所在する国宝・国重要文化財・国登録有形文化財・県指定文化財建造物・市指定文化財建造物・その他の歴史的建造物について解説したリーフレット「熊谷市の歴史的建造物一熊谷の歴史・文化を語り継ぐ建造物群一」と、市内の無形民俗文化財・無形文化財、熊谷の年中行事などの歳時記について解説したリーフレット「熊谷の伝統芸能と歳時記一熊谷の歴史と無形の文化遺産をめぐる旅一」を作成し、5月から市内各所の施設等で無料配布を始めました。(山下)



◇金子兜太氏を偲ぶ研究会

7月15日、2月に98歳で亡くなった俳人・金子兜太さんを偲ぶ研究会「熊谷の俳諧と金子兜太文学」を市内鎌倉町の名勝「星溪園」で開催しました。研究会では金子さんの俳句や足跡を紹介する講演とともに、俳人で熊谷市俳句連盟名誉会長の天貝弘人さんとのトークセッションが行われました。会場には金子さんが揮ごうした「利根川と荒川の間雷遊ぶ」の色紙や著作が展示されたほか、献茶会が開かれました。研究会には金子さんが主宰を務めた俳誌「海程」の同人や、俳句愛好者など県内外から約30名が参加し、戦後俳壇をけん引した金子さんの俳句に思いを馳せました。(山下)



◇奥原晴湖書画研究会

4月21日、市内上之にある龍淵寺本堂において奥原晴湖一門書画研究会が開催されました。龍淵寺近くの旧上川上村に画室を有し晩年の画業に励んだ奥原晴湖とその一門の回顧する行事として、絵画を個人に募り、当日限りの一般公開・展覧会及び講演会「奥原晴湖の生涯と芸術一晴湖芸術の変遷と「南画」の影響関係をめぐって一」を開催しました。冒頭の講演会では本堂に入り切れない程の約150名の聴講者が集まり、一日を通しての展覧会への来場者は約300名を数える盛況となりました。(山下)



【文化財探訪 三ヶ尻・田中神社】

押切橋の北に見える小さな社叢、そこが田中神社です。田中神社は、平安時代(延長五年:927年)の『延喜式』神名帳に「武蔵国幡羅郡田中神社」と記された式内社です。『新編武蔵国風土記稿』には、「水田の中間にあるをもて田中天神といへり」との記述があり、稲作の神様を祀った神社と考えられています。現在は小さな社が建っていますが、江戸時代に当地を訪れた渡辺崋山の実地調査報告書『訪風録』には、「古代八大社ナルヨシ」と記されており、江戸時代以前は大きな社で参道も長かったことが窺えます。

境内には「要石(かなめいし)」(下写真)と呼ばれる石が埋められています。これは地震を封じるための石と伝えられています。これまで当地域で大きな地震がなかったのは、この石が守ってくれているのかもしれませんが。(松田)

